

うわさは事實

労働友會の

八幡製鐵所職工を以て組織せし労働友會の幹部某が最近熾んに八幡市海岸通の某料理屋に出遣り酒色に耽溺し居る噂既報したるが聞く所に依れば會長淺原某は二十一日突如八幡岩に召喚され何事が注意を受け厳しき説諭を加へられたるが労働友會の内部に關し本社との更に探問する處に依れば此程評議員間に内訌を生じ某評議員の如きは同會の某々が職權手段を弄し小刀細工を企て居る由を聞知し大に立腹し五十餘名の善良なる會員と興に不平を鳴し脱會したりと尙噂に依れば會員中には結束して淺原會長の不人望を識見に乏しきを看取し不信任案を提出し會長排斥を企て居るもの、如く傳へられ居たり又無料診療所の如きも來價は事實と決定し居るも實は開業

主義の

使ひ分け

八幡労働組合の奇現象
日本労働友會が近時相違して、職員中殊に幹部の一部には労働友會にして適當なる支部長を擧げ、労働友會にして大に雅量を示して同會に毎し意ある労働組合と爲さんとして同志會とは認識に相違せず、や労働友會と同志會との競争中にして之れが爲る勢に會員たるが如き職工多敷ありて中には同會の幹部として主義主張の使ひ分けを遺つて居るが如き漸趨あるを揚ぐる由(四訂電話)

八幡に於ける 普選要求の烽火

先づ八幡市に揚がる
其筋の警警戒頗る嚴重
四隊に分れ市中を練り廻る

九州における普選要求運動の烽火は二日午前九時三萬の労働者を起す製鐵所所在地たる八幡市に於て揚げられたり主催者日本労働友會は午前九時労働友會と大書せる大旗を押し立てたる自動車數車を飛して會員の

出出しを行ひ辻々にては賑より賑めと「普選」を要求する民衆は集合せよと記せる紙片を貼り、警備隊なり中央區警備隊所購買會館の廣場に集合せる民衆は同れも職工服に烏打帽或は原司委の労働者なり労働友會理事百村眞澄氏開會の辭を述べ左の宣言書を朗讀す

吾人は現代の條件を脱し政治的産業的將た社會的にも一個の人格者として自由獨立の生存權を主張す吾人の日常生活に最も重大なる關係を有する参政權を獲得すること一日も忽ち附することを得ず茲に於て吾人は普選選舉を要求し極力その貫徹を期す

之より先所請八幡警察署には高

可署長又高等刑事を引連れて應に赴き警備隊を率て警備隊に八幡市警察署の隊以外の隊を一切禁止せしめ説諭の如き願がら

叱り飛ばして許さざりき官廳の警察を恨める群衆は手にく小旗を振舞ひ四個の小隊に分れて警察署の自動車先頭に川警署民衆の歌を高唱して雨の市中を練り歩き午後二時散會せり(八幡來電)

八幡市日本労働友會主催となり來し之と同時に普選促進大デモンストレーションを練り歩かせし云へるは豫め嚴重の手配をなす

八幡の普選 促進運動

雨中の旗行列
日本労働友會理事吉村眞澄氏司會の許に一日午前九時より八幡市において普選促進市民大會を開催し示威運動をなすべき誓ひなりしも同日は雨天のため順延となり一日午前十時よりこれを開催せり先會場たる八幡市中央區空野に司會者及關係者參集し諸般の準備をなせる中會員及市民道々參集してその數約千名に達したる頃左の如き宣言をなせり

吾人は時代の潮流を脱し政治的産業的將た社會的にも一個の人格者として自由獨立の生存權を主張す吾人の日常生活に最も重大なる關係を有する参政權を獲得すること一日も忽ち附することを得ず茲に於て吾人は普選選舉を要求し極力その貫徹を期す

普選促進市民大會大書せる大旗二旗を先頭に會員を四隊に分ち自動車警備隊を加へて行進隊を高唱し市内に示威運動を起せり尙右に關し警察部より小山未國警備隊出張し八幡岩